明石	工業高等	 穿門学校	開講年度	平成31年度	 (2019年度)	授	 業科目	人間・環境構成論	
科目基礎			1 1 2 2 1 2	. ,				The second secon	
科目番号 0044					科目区分		専門 / 選択		
授業形態					単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科			対象学年	×^	專2				
開設期							2		
教科書/教						週時間数 2 Jeman,「Inclusive Design: Design for the whole population」			
担当教員	. 1. 3	大塚 毅然		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		5.70 2 00	, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>	gir io. dire imole population.	
到達目標	<u> </u>	7 (5, 52/2							
(1)配布資 (2)バリア (3)バリア	料やテキス フリーから フリーおよ ハ、当事者	らコーバーサ	レデザイン及びイン ナルデザイン、イン	ンクルージブデザィ	とめ、著者の意図を インについてのデザ インにおける人間と	インプロ	ヤス基礎を	発表する(E) を理解する(A,H) しての"気づく力"とユニバーサルマイ	
70 2 .	,,,		理想的な到達し	標準的な到達レ	標準的な到達レベルの目		未到達レベルの目安		
			インクルーシス	-					
評価項目1			、概念方法論を十分に説明できる			対けていた。	ルについて きる。 	インクルーシブデザインについて 、概念方法論を説明できない。	
評価項目2									
評価項目3		TO! - 55	 TE						
		頁目との関							
		学習・教育目	l標 (E) 学習・教育	育目標 (H)					
教育方法	去等								
概要		一に近い砂	ーシブデザインとは、英国で誕生した障害者や高齢者などのユーザ層をデザインプロセスに積極的に取り込む市民活動団体やチャリティー、企業等と協同で,特別なニーズを抱えた消費者が引け目を感じることのない,市場ストリームを占めることができるようなデザインを次々と発信している.広義のユニバーサルデザインとは非常念である。本講義ではインクルージブデザインと周辺の類似概念を紹介したうえで、インクルーシブデザイン取得することを目標とする(15週)。						
授業の進め方・方法 講義と当時者とのディスカッション形式を中心に、随時、現地見学等を行い理解を深め井。講義に伴 宜配布する。									
注意点		90時間は	. 授業で保証する学習時間と、予習・復習及び課題レポート作成に必要な標準的な自己学習時間の総計が、 相当する学習内容である。 象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課						
授業計画		11/							
週			授業内容				週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	イントロダクショ 人間-環境系におい シブルな環境構築	が利用できるアクセ 取り組みのアーカ !説し、ディスカッ	人間-環境系における世界のアクセシブルデザインの制度が理解できる				
		2週	人間-環境系のデサ	するには、どのよ	人間環境系のデザインの様相を考察する方法を説明できる。				
		3週	WHOが提示したI WHOが提示したI 体機能の障害に起 ついて説明する。 次週までに和訳し)という考え方)という考え方、身 れるという認識に 課題を課すので、	WHOが提示したICIDH(社会的不利)について、説明できる。				
		4週	がいのある人"と話	いて が主流であった"障 ル"として捉えなお 障害についてのべ	国際生活機能分類(ICF)について、説明できる。				
		5週	ユニバーサルデザインとは何か? ユニバーサルデザインの原則および具体的事例の説明を行う。			ユニバーサルデザインの概念および具体的事例が説明 できる。			
		6週	兵庫県立福祉のまちづくり研究所での研修 住宅及び公共空間でのバリアフリーについて、ア シビリティを中心に、具体的事例を交えて研修を			住宅公共空間での福祉機具、バリアフリー住宅改造、 バリアフリー住宅について理解する。			
		7週	ユーザー情報 IAUD(国際ユニバ ックスを利用しな の理解と利用シー	議会)のUDマトリ ザーの行動特性へ 学ぶ。		UDマトリックスを利用しながら、多様なユーザー 動特性について説明できる。			
		8週	観察工学による行動観察の方法 人間-環境系による直接行動観察法について説明する			観察工学による行動観察の方法について、説明できる。			
	4thQ	9週	観察工学による行		行動観察について実習を行い、行動観察の手法について理解する。				
		10週	人間-環境系による 感性創造価値デザ 生活者の感性に働 化する商品・サー ついて、説明を行	に美質を付つ。 対象ではで顕在している「感性価値」に		<u>C埋解する。</u> 感性創造価値デザインについて、説明できる。			
		11週	インクルージブデザインによるイノベーション事例 英国王立芸術大学ヘレンハムリンセンターでのインク ルージブデザインによるデザインプロセスについて説明する。				インクルージブデザインによるデザインプロセスにつ いて説明できる。		

	12週	インクルーシブデ 英文購読を行い、 う	ザイン英文購読1 内容についてディン	スカッションを行	インクルーシブデ できる。	゚゙ザインについて、	英文の内容が説明					
	13週	インクルーシブデ 英文購読を行い、 う	ザイン英文購読 2 内容についてディ <i>フ</i>	スカッションを行	インクルーシブデザインについて、英文の内容が説明 できる。							
	14週	インクルーシブデザイン手法によるデザイン提案 インクルーシブデザイン手法を利用して、デザイン提 案を行うためのリサーチを行う。										
	15週	インクルーシブデ 当事者の課題に対 を利用して、デザ	ザイン手法によるう して、インクルーシ イン提案を行う。	デザイン提案 ンブデザイン手法	当事者の課題に対 用いて、具体的な	してインクルーミ デザイン提案がで	ッブデザイン手法を ごきる。					
	16週 期末試験											
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標												
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目	 標	到達レベル 授業週							
評価割合												
	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計					
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100					
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0					
専門的能力	70	0	0	0	30	0	100					
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0					